

ひろがる つながる とどく

ひっとプラン港北

素案

～第3期港北区地域福祉保健計画～ (計画期間：平成28年度～32年度)

ひっとプラン港北(港北区地域福祉保健計画)は、その地域に住む誰もが自分らしく安心して暮らせるまちを目指し、地域住民と関係団体、行政、事業者などが連携して地域の福祉保健課題の解決に取り組み、助けあい、支えあいのある地域づくりを進める計画です。

28年度から始まる第3期計画の素案について、区民の皆さんの意見をお寄せください。

こんなまちにしたい! を実現するために

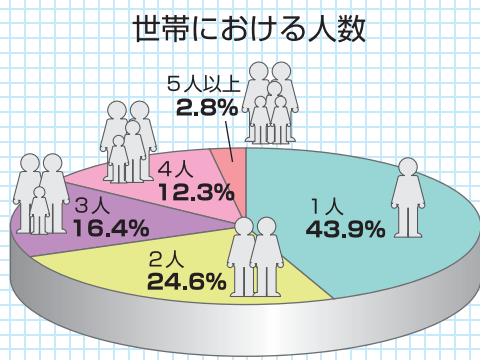
～みんなでつくるひっとプラン港北～

区民の皆さんから意見をいただき、地区計画及び区全体計画づくりを進めています。

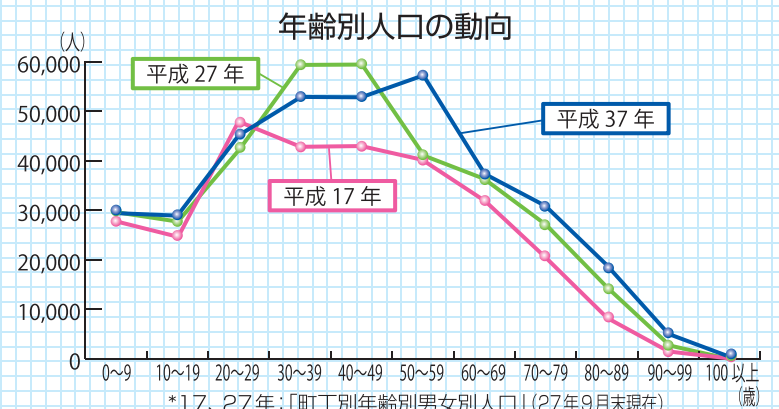
港北区の現状や将来像を見てみると

港北区は人口・世帯数ともに市内第1位です。市全体と比較すると単身者世帯が多く、子育て世代の割合も高いことが特徴です。

今後も人口は緩やかに増加する見込みですが、特に高齢者の占める割合が高くなることを見込まれています。



*港北区資料(27年9月末現在)



*17、27年：「町丁別年齢別男女別人口」(27年9月末現在)
*37年：年齢別人口変化の傾向に基づく推計値

さまざまな場面でお話を伺いました。

地区計画策定推進委員会でのグループワーク



これから高齢者が増えるから、地域での見守りはますます大切

地域の活動者へのアンケート



他の活動者や団体ともつながりをつくりたい

子育て世代との意見交換



子育てや地域の情報をもっと知りたい

区民フォーラムで地区ごとに第3期計画に寄せる思いを発表



港北ほくほくフェスタ

これまでの活動を継続しながら、顔の見える関係づくりや住民同士の交流を広げたい

計画検討部会で港北区の課題を議論



幅広い世代が地域活動に参画できるきっかけづくりが必要



皆さんの意見を
募集します。

募集期間 1月31日(日)まで

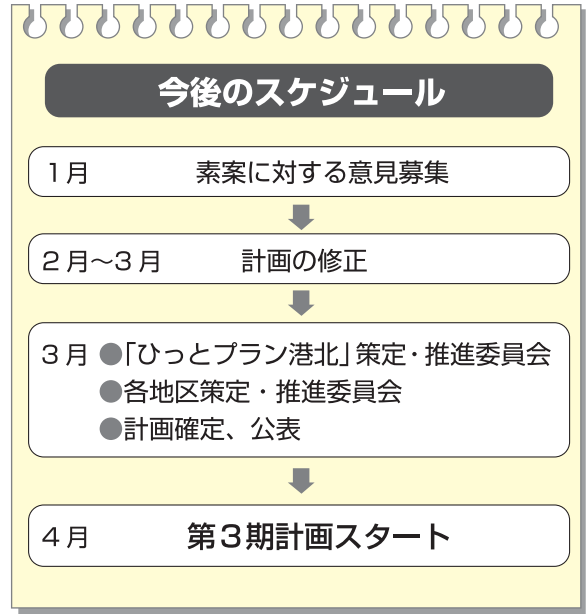
提出方法 素案概要版に付いている専用はがきか
封書、ファクス、Eメール

- 素案概要版の配布場所：区役所・区社会福祉協議会（区社協）・区内地域ケアプラザなどの窓口
- 素案の詳細は、区役所・区社協ホームページか区役所・区社協・地域ケアプラザで閲覧できます
- 13地区の地区計画素案：素案ができた地区から順次、地区内で回覧します。区役所・区社協のホームページか区役所・区社協・地域ケアプラザでも閲覧できます

港北区地域福祉保健計画 か ひっとプラン港北 で 検索

送付先 郵送：〒222-0032 大豆戸町 26-1 港北区役所 事業企画担当
FAX：540-2368
Eメール：ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp

※いただいた意見は、その概要と意見に対する区役所・区社協の考え方をとりまとめ、「ひっとプラン港北」策定・推進委員会に報告するとともに、区役所ホームページで公表します。個別回答はしませんので、あらかじめご了承ください。



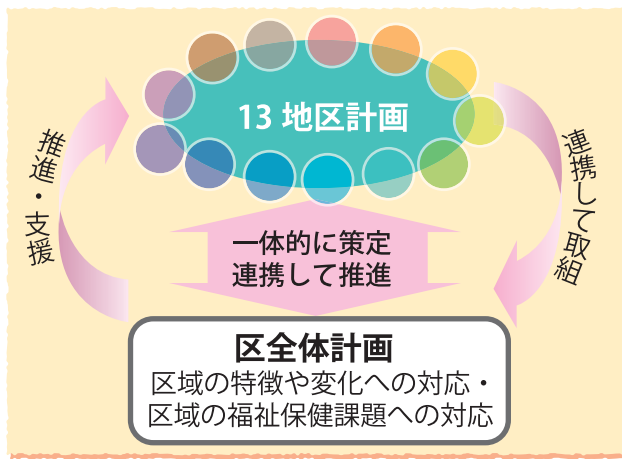
ひっとプラン港北 素案の概要

計画の構成

区内13の連合町内会・地区社会福祉協議会ごとに定める「地区計画」と、「区全体計画」から構成されています。

「地区計画」は、地区の住民が主体となり、地域の特性などを生かしながら、福祉保健を中心とした地区の生活課題について検討し、解決していくために策定・推進する計画です。

「区全体計画」は、区役所と区社協が中心となり、各地区計画での取組とも連携しながら、区域の福祉保健課題について検討し、解決していくために策定・推進する計画です。



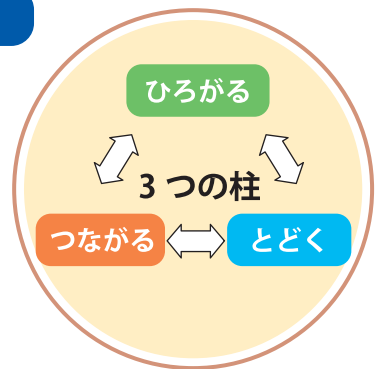
計画の基本理念

「誰もが安心して健やかに暮らせるまち 港北」

第2期計画の基本理念を継続しながら、新たに「健康」という視点を加えています。

計画推進の柱と愛称

第2期計画に引き続き、「ひろがる」「つながる」「とどく」を計画推進の柱とし、この推進の柱の3つの頭文字「ひ」「つ」「と」をつなげた **ひっとプラン港北** を愛称として継承し、計画を推進していきます。



計画推進の柱と重点取組

推進の柱1

ひろがる

理解と参加のひろがりによる
活発な地域づくり

世代を超えて理解と参加を促し、
活発で持続可能な地域づくりを
進めます。

- 1 幅広い住民の地域活動への参加促進
- 2 地域活動の活性化と拡がり促進
- 3 未来を担う次世代育成

- 取組目標**
①地域活動の魅力を変え、多くの住民の理解を深めます。
②多様な地域活動への参加のきっかけを作り、継続に向けた支援を行います。
- 取組目標**
①円滑な福祉保健活動の推進のために、地域資源の活用を進めます。
②多様な活動団体のネットワークづくりを進めます。
- 取組目標**
①地域ぐるみで子どもを見守り、子育てにやさしいまちづくりを進めます。
②次世代を担う子どもたちに、地域との関わりやつながりの大切さを理解してもらい、地域への愛着心を育てます。

推進の柱2

つながる

人のつながりで進める
安心なまちづくり

住民同士の交流と多様性の理解を
進め、健康で安心して暮らせる
まちづくりを進めます。

- 1 人と人とのつながりづくり
- 2 年齢や障がいの有無に関わらず、誰もが参加できる場づくり
- 3 健康寿命を延ばす取組の推進

- 取組目標**
①住民一人ひとりが地域とつながり、支えあうことの重要性について理解を深める取組を進めます。
②住民が交流する機会、場を増やします。
- 取組目標**
①地域には様々な人が暮らしていることへの住民の理解を深めます。
②年齢、障がいなどに関わらず、参加できる場を増やします。
- 取組目標**
①健康づくりや「つながり」づくりの大切さへの理解を深めます。
②身近な地域で健康づくりを行う場、機会を増やします。

推進の柱3

とどく

支援がとどく仕組みづくり

必要とする人に的確に支援が届く
仕組みづくりや、身近な地域で
相談できる環境整備を進めます。

- 1 支援が必要な人を発見し支援につなげる仕組みづくり
- 2 身近な場所で相談・支援が受けられる環境整備

- 取組目標**
①日常的な近隣関係や福祉保健活動を通じた緩やかな見守りを推進します。
②支援が必要な方を速やかに把握し、支援につなげる仕組みをつくりまします。
- 取組目標**
①地域と専門機関等が連携し、地域で支援が必要な人を支える仕組みをつくりまします。
②身近な地域で相談や支援が受けられる環境を整えます。